



「率先しよう！」

2006-2007年度 RI テーマ

RI 会長 ウィリアム B.ボイド
第 2640 地区ガバナー 三軒久義

海南東ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

第 1462 回例会 18 年 10 月 23 日(月)

海南商工会議所 12:30~

1. 開会点鐘 副会長 大川 幹二
2. ロータリーソング 「それでこそロータリー」
3. ゲスト紹介 米山奨学生 王 慧芝様
4. 出席報告
会員総数 71 名 出席者数 45 名 出席免除会員 1 名
出席率 64.29% 前回修正出席率 82.86%

5. 会長スピーチ

会長 新垣 勝



皆さんこんにちは。先週の例会を欠席させて頂き、14日から16日にかけて台湾の彰化東南ロータリークラブを訪問してきました。14日の例会、15日午前の観光および昼食と、林会長初め会員・家族の方々の熱烈な歓迎を受けてまいりました。

詳しい報告は、後日、林国際委員長からあると思いますので省きますが、友好クラブ締結はOKで、来年の4月ごろ当クラブへの訪問を予定しているそうです。早速受け入れ準備に入りたいと思いますが、その節には皆様方はじめご婦人方のご協力を節にお願い申し上げます。

尚、今回の訪問に際しては、林さん、寺下さん初め、参加いただいた会員の方々とその奥様方にはご苦勞様でございました。それに米山奨学生の王さんの細やかな心遣いにも感謝申し上げます。

クラブ・リーダーシップ・プランについて、ロータリーの友10月号の横組み20ページから23ページにかけて書かれています。国際ロータリーの理事の文章ですので、やや弁解がましい文章になっていますが、よくまとまっていると思います。CLPを採用するしないに係わらず、クラブの将来にとって重要なことですので、一読をお勧めします。CLPが発表されて、まもなく3年になります。もう知らない・わからないではすまない時期に来ていると思いますので、勉強のほうもよろしく申し上げます。

今月の理事会報告でございますが、彰化東南ロータ

リークラブとの友好クラブ締結を了承しました。2006~2007年度の全国ロータリークラブ野球大会への参加を了承しました。当クラブが初めて甲子園球場での野球大会に参加したのは、昭和59年の5月で、今は亡き土岐会長の時でした。12月2日(土)行われる「世界エイズデー」普及啓発事業への参加を決定しました。新年夫婦例会は1月15日(月)にロイヤルパインズホテルでの開催を決定しました。

10月21日のRYLA KEY MANの会議に中西さん・小久保さん・阪口さん出席ご苦勞様でした。ご存知の通り、来年4月28~30日にかけてRYLAが当クラブを含むIM2組担当で開催されます。青少年の指導者を育成するロータリーの重要な事業であり、皆様の理解と協力をお願い申し上げます。この後、米山記念奨学会委員長の小椋さんの卓話がございます。私からも、米山月間でもあり「率先しよう」のRIテーマにのっとり、一人でも多くの方々のご寄付協力をお願い申し上げます。

6. 幹事報告

- メーキャップ 中村雅行君 海南RC 10/18
例会臨時変更のお知らせ
橋本紀ノ川RC 10月24日(火) 10月22日(日)
17:00~ 国民宿舎 紀伊見荘
(松茸家族例会)
打田RC 11月2日(木) 11月2日(木)
18:30~ JA紀の里ふるさとセンター2F
ガバナー公式訪問(粉河・岩出・打田合同例会)
海南西RC 11月2日(木) 11月2日(木)
18:30~ 家族会 和歌山マリーナシティ
「マルセイユ」
レートの変更 11月1日より
1ドル=118円

7. 委員会報告

ロータリー情報委員会 山東剛一副委員長
情報委員会からお願いします。お手元にお配りしてありますIDMのご案内ですが、リーダーの方は会場その他をお決めになって事務局までご報告いただくとともに、11月中に終了させていただきますよう宜しくお願い致します。

四つのテスト

- 真実かどうか 好意と友情を深められるか
みんなに公平か みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)
電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：新垣 勝 幹事：吉野 稔 SAA：山田耕造

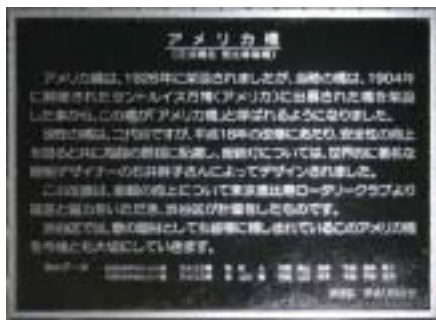
会の展示品を、当時の逓信省鉄道作業局(旧国鉄の祖形)が買い取り、この地に架設しました。

そのころは、先進国の象徴として鉄の構造物が求められた時代です。輸入した時は日本で唯一の「鉄でできた橋」として観光名所になったといわれ、静かな住宅地に囲まれたこの橋の上からは渋谷や広尾の街並みが見渡せたそうです。

現在のものは、1970年に架け替えられた2代目。「アメリカ橋」という名前のヒットソングで一躍有名になりましたが、街路灯もなく、毎日通る人ですら、そこに橋があることに気づかない状況になっていました。



「アメリカ橋」は、恵比寿ガーデンプレイスに隣接していますが、この一角のホテルで例会を開いている東京恵比寿ロータリークラブが、ロータリー100周年、クラブ創立10周年を記念して、渋谷区に提案、アメリカ橋を改修し、そこに街路灯をつけることになりました。同クラブでは、その費用の一部を負担するとともに、会員の専門や人脈を生かし、さまざまな形で渋谷区と協力してこの事業を進めてきました。



街路灯は、世界的に有名な照明デザイナーの石井幹子氏のデザインによるもので、9月6日(水)その点灯式が、石井氏、アメリカ橋をヒットさせた狩人の二人と山川豊氏、大河原良夫元アメリカ大使、桑原敏武渋谷区長なども出席して行われました。

当日はあいにくの雨でしたが、近隣の多くの人たちやロータリアンらが見守る中、街路灯に明かりが入りました。また、テレビ局5社が取材、テレビでこの様子や事業について放映、ロータリークラブの活動を一般人々に知ってもらう絶好の機会ともなりました。

点灯式も終わり、少し夜も更けてきて辺りが静かになったころ、「なんだか急に明るくなったね」「こんなところに橋があったんだ」「これ、アメリカ橋って言うのか」などと言いながらこの橋を渡る

人々の姿を見ることができました。中には、携帯電話やデジタルカメラを取り出し記念撮影をする人の姿もありました。

南アジアで新たなポリオ撲滅活動

世界でポリオが残っている南アジアで、新しいポリオ撲滅活動が展開されています。

インドでは、発症がウッタープラデシュ州に集中していますが、これは経口ワクチンが汚染されているとのうわさが広まり、特に貧しいイスラム家庭でワクチンが拒否されたことによるものです。そこで、国家ポリオ・プラス委員会は、首都・デリーでイスラムの学者や地域リーダーたちを招いて会議を開き、ワクチンを受けに来るよう呼びかけてほしいと説得。報道機関にも訴えました。また、パキスタンでも、国家ポリオ・プラス委員会が、感染の恐れのある地域を対象に、ラジオを通じてポリオ撲滅活動のメッセージを伝えています。

バングラデシュとネパールでは、インドからのウイルスのよって再感染するまでは、ポリオのない国でしたが、保健担当員やボランティアがこれを一時的なものにするため奮闘しています。国家ポリオ・プラス委員長は「困難はあるが、政府と国際ロータリーによる支援によって撲滅への意志を固めることができます」と述べています。

ポリオ(小児まひ)をなくそう!

日本で、ポリオ(小児まひ)という病気が大流行して、多くの子どもたちが亡くなったり、体が不自由になったりした時代があったことをご存じでしょうか。国際ロータリーでは、1985年このポリオ撲滅活動を本格的に始動いたしました。私たちは、ロータリーが創立100周年を迎える2005年までに、世界中から、このポリオをなくすことを目標に活動してきました。ポリオの撲滅は99%が終わり、あと1%を残すのみとなりましたが、残念ながら、まだ一部の地域でポリオが発症しています。最後の1%は紛争地帯など、ワクチン投与のために入るのに、非常に困難な地域に残っているのです。



資金が不足しています。その資金を集めるため、全世界でロータリーは「ポリオ撲滅キャンペーン」を展開しました。日本のロータリークラブでも、地元の祭りやさまざまなイベントなどの機会を利用して、地域社会の人々に協力をお願いしています。ポリオ撲滅の目標を達成するまで、世界中のロータリアンはポリオと闘い続けます。